

**第59回岐阜県消防操法大会開催!!**

～ 揖斐川町消防団(揖斐分団)が優勝! 全国大会出場へ!～

8月1日(日)、真夏の太陽が照りつける晴天の下、揖斐川健康広場(上南方)で、第59回岐阜県消防操法大会が開催され、揖斐川町消防団(揖斐分団)が優勝し、11月12日(金)に愛知県蒲郡市で開催される全国大会への出場を決めました。

大会には県内の42消防団から各地区の大会で選ばれた28隊140人が出場し、関係者など約6000人が来場しました。

競技種目は小型ポンプ操法で、火技術の正確さや早さを競い、どの隊も訓練の成果を存分に発揮したレベルの高い大会となりました。

大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 揖斐川町消防団
- 準優勝 大垣市墨俣町消防団
- 優秀賞 美濃加茂市消防団
- 高山市消防団
- 垂井町消防団
- 中津川市消防団
- 神戸町消防団
- 瑞浪市消防団
- 岐阜市北消防団
- 下呂市消防団
- 優良賞



▲大会会場の様子(揖斐川健康広場)



▲選手宣誓をする揖斐分団小森班長。



▲選手の皆さん優勝おめでとうございます。



▲見事な操法が披露されました。

**花いっぱい運動が始まりました**

平成24年に開催されるぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催機運を盛り上げるため、町を花で飾る「花いっぱい運動」が始まりました。

今年度は、揖斐地区の国道沿いなどをモデル的に実施する計画で、7月4日(日)に実施した栄町をはじめ、上新町・下新町・昭和町で、プランターへ花苗を植え込む作業が行われました。

植えた苗は、ニチニチソウやサルビアなどの国体推奨花で、国体をPRするステッカーが貼りつけられたプランターとともに、町を花で飾っています。今後も、花いっぱい町で国体が迎えられるよう、運動を広げていきます。

**【お問い合わせ先】**

国体準備室

TEL 22-2111



▲栄町での植え込み作業の様子

**実業団男子ソフトボールの  
全国大会が開催されました**

7月17日(土)から19日(月)にかけて、揖斐川町で第50回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会が開催されました。

大会では、全国各地の予選を勝ち抜いた32チームによる熱戦が連日繰り広げられ、トップレベルのプレーで、観客を魅了しました。

また、今大会を平成24年のぎふ清流国体・ぎふ清流大会のリハーサルにも位置づけ、スタッフ業務などの円滑な運営に取り組み、開催機運の盛り上げを図りました。

大会結果は次のとおりです。

- 優勝 デンソー(愛知県)
- 準優勝 日新製鋼(広島県)
- 3位 高崎市役所(群馬県)
- 3位 宇部興産株式会社(山口県)



▲7月19日の決勝戦の様子

**親子でカヌーを体験**  
〈カヌー教室開催〉

7月25日(日)、揖斐川中学校のプールで、夏休み特別教室の一環として、親子カヌー教室が開催されました。

揖斐川町では、平成24年のぎふ清流国体で、カヌー競技が行われますが、普段なじみのないカヌーを広く知ってもらい、興味を持ってもらうため、教室を開催しました。

教室では、岐阜県カヌー協会の講師の指導により、カヌーの乗り方やパドルの使い方などの基礎を学び、カヌーを使った鬼ごっこなどのレクリエーションを交え、カヌーを体験しました。

猛暑の中、参加した7組の親子は、始めは慣れないパドルの操作に悪戦苦闘しましたが、教室の終盤にはカヌーを上手に操り、親子で楽しそうに艇を進めていました。



▲カヌーを操る参加者の様子

**暴力団排除の合意書を締結**  
〈揖斐郡3町と揖斐署〉

7月7日(水)、揖斐郡3町と揖斐警察署が、町の契約や事務事業への暴力団の関与を排除する合意書を締結しました。

岐阜県も岐阜県警と同様の合意書を結んでおり、西濃地域では揖斐郡が、いち早く取り組みました。

合意書では、各町が揖斐署に暴力団関係者の照会をできることや、暴力団などから妨害があったり、予想される場合の警察官の出勤や支援要請などについて定められています。



▲合意書を締結した揖斐郡内の町長と揖斐警察署長

**FBC春花壇受賞報告**  
〈国土交通大臣賞 小島小学校〉

花壇づくりを通して自然を愛する心を育て、地域社会の美しい環境づくりを推進することを目的として、学校花壇の出来栄を競う「フラワー・ブライボ・コンクール(FBC)」の受賞報告が、7月6日(火)役場で行われました。

FBC春花壇には、県内の86校が参加し、19校が入賞。小島小学校は、特別賞の国土交通大臣賞を受賞しました。

報告に訪れた児童は、「今年は雪が多くて、苗を育てるのに苦労しました。これからも地域や学校が花いっぱいになるように頑張りたいです。」と話しました。

受賞おめでとうございます。



▲特別賞受賞おめでとうございます。

ペットボトルキャップを寄贈

「世界の子どもにワクチンを」

7月7日(水)、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に協力しようとして、久瀬小学校の児童が回収したペットボトルキャップをNPO法人いびがわみずみずエコステーション(中村賢久理事長)に寄贈しました。久瀬小学校では、PTAの母親委員会を中心となつて、5月下旬から地域に呼び掛けて、約25000個のペットボトルキャップが集まりました。

寄贈式に参加した児童は、「捨てるゴミになるものが、ワクチンになると知り集めました。これからも活動を続けていきたい。」と話しました。



▲ペットボトルキャップを手渡す児童たち

社会を明るくする運動

街頭啓発

7月12日(月)いびプラザ前と養老鉄道揖斐駅前「社会を明るくする運動」の街頭啓発活動が、行なわれました。

この活動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的として行なわれています。

この日は、揖斐川町保護司会、更生保護女性会や揖斐高等学校のMSリーダーズの皆さん約60人が参加しました。

また、青少年の非行・被害防止全国強調月間に併せて「青少年の非行と被害防止」の啓発活動も行われました。



▲養老鉄道揖斐駅前での街頭啓発の様子

イントラネットを利用した

4校同時遠隔授業を実施

7月13日(火)、大和・北方・清水・小島の4小学校で、イントラネットを利用してwebカメラによる遠隔授業が実施されました。

今回は、川の恵みへの感謝や治水への願いを込めて、8月8日(日)に開催される「ありがとう花火」について学習しました。

いびがわの祭りのキャラクター「カッパの河太郎」が揖斐川や花火大会の歴史を説明し、児童たちは、「花火は何発打ち上げたの」「昔の水害の被害はどの程度だったの」などと質問し、カッパの河太郎が答えました。

参加した164人の児童は、授業の最後に、花火玉に貼るメッセージシールに願い事を書きました。



▲4校同時遠隔授業の様子(小島小学校)

北海道芽室町で県外研修

「研修派遣団認定式」

北海道芽室町への派遣研修の認定書交付式が、7月13日(火)、揖斐川町中央公民館で行われました。

この研修は、芽室町での交流を通じて、生活や文化、歴史などを学び、感性豊かな人材を育てるために行われています。

交付式では、宗宮町長から今回参加される13人の児童の皆さんへ認定書が手渡されると、真剣な眼差しで受け取っていました。

最後に派遣団の団長から挨拶があり児童の皆さんは決意に満ちた表情を浮かべていました。



▲認定書交付の様子

## 夜叉ヶ池伝説道中まつり

「夏の夜に伝説ふたたび」

夜叉ヶ池伝説道中まつりが、7月24日(土) 遊らんど坂内特設会場で行われ、家族連れなど、およそ2000人が集まりました。

このまつりは、千余年にわたり語り継がれている伝説にそって、安八郡神戸町から揖斐川町坂内まで、巨大な龍が道中舞を練り広げるものです。

ステージイベントでは、よさこい、沖繩三味線、太鼓演奏などが行われ、訪れた皆さんを楽しませていました。

フィナーレは、夜叉ヶ池伝説を題材に創作された夜叉ヶ池物語が披露され、美しい夜叉姫の歌声や迫力のある龍神の舞に、客席の皆さんは魅了されていました。



▲幻想的で迫力のある龍神の舞

## 北海道芽室町と学校間交流

「みんなともだち」

揖斐川町と友好都市提携を結んでいる北海道芽室町の小中学生14人が、7月28日(水)から30日(金)にかけて、揖斐川町を訪れ、7月29日(木)には、小島小学校の4～6年生の児童約140人と交流しました。

小島小学校体育館で行われた交流会では、お互いに地域の特徴や学校での活動を紹介し、小島小学校の児童は、マーチングバンド演奏やよさこいソーランを披露して、来校を歓迎しました。

その後、芽室町の小中学生も踊りに加わったり、一緒にゲームを楽しみなどして交流を深めました。



▲地域や学校活動の紹介をする芽室町の小中学生

## 中学生議会開会

8月6日(金)、揖斐川町中央公民館で、中学生議会が行われ町内6校から中学生議員20人が参加しました。

今回の議会の議長は、揖斐川中学校の中根拓未<sup>なかにわみ</sup>さんと、中学生憲章具現化への取り組みの報告や、わが郷土の誇りの発表、誇りある揖斐川町をより発展させるための町への質問や提言がありました。

閉会の挨拶で、議長を務めた中根さんは「近い将来、揖斐川町を担うことになりませんが今回の経験を忘れることなく、揖斐川町民として誇りと自覚を持って生きていきたい」と話しました。



▲中学生議会の様子

## 大好評！ 揖斐高シヨップ

県立揖斐高等学校の生徒たちが育てた野菜などを販売する揖斐高シヨップが、7月21日(水)、22日(木)の2日間、樽久の旧店舗(三輪)で開店されました。

この揖斐高シヨップは、口コミで人気が高まり、毎年多くの方が訪れます。

販売品は、連携している農家で共同栽培をした野菜や揖斐高校生活環境科の生徒が作った商品のほか、北海道芽室町の特産品なども数多く取り揃えられました。

今回は、手作りのアイスクリームやエプロン、鉢植えなどが人気を集め、2日間で商品は完売しました。次回は、12月に開催される予定です。



▲笑顔がたっぷりの揖斐高シヨップです。

## いびがわの祭り開催

〜4000発の花火が夜空を彩る〜

8月8日(日)、いびがわの祭りが揖斐川河畔、商店街通りを中心に開催され、多くの人で賑わいました。

今回は、揖斐川町商工会主催の合併5周年記念の歌謡ショーや軽トラ市なども同時開催され、例年以上の盛り上がりでした。

メインイベントの花火では、皆さんの願いを込めたメッセージが貼られた花火、約4000発が夜空に打ち上げられ、訪れた多くの皆さんを魅了していました。

また恒例となっている「民踊流しおどり」イベントなどが行われました。



▲夜空を彩る花火(揖斐川河畔)



▲民踊流しおどり



▲歌謡ショーの様子(揖斐川町中央公民館)

## 第11回 久瀬花き品評会開催

7月29日(木)久瀬公民館で、久瀬花き生産

組合主催による「第11回久瀬花き品評会」が開催されました。

小菊46点、しきみ34点が出品され、

色や形、つや、商品性などを基準に審査をしました。

岐阜県知事特別賞は、小菊を出品した安藤みつのが受賞されました。そのほかの入賞者は次のとおりです。



### ■切花の部(小菊)

金賞(町長賞) 山本 友之さん

銀賞(岐阜生花市場協同組合理事長賞) 村瀬 佐一さん

銅賞(いび川農業協同組合長賞) 五十川 武美さん

奨励賞 河合 三郎さん

枝物の部(しきみ)

金賞(町長賞) 高橋 努さん

銀賞(揖斐農林事務所長賞) 河合 元美さん

銅賞(久瀬花き生産組合長賞) 高橋 時江さん

奨励賞 河合 三郎さん

河合 三郎さん

河合 三郎さん

河合 三郎さん

河合 三郎さん

## おじま幼児園 完成を祝う会

昨年9月から、改築工事が進められてきたおじま幼児園が、このほど完成し、お祝いする会が7月31日(土)、おじま幼児園新園舎で行われました。

この日は、おじま幼児園と保護者会共催の夏祭りが地元の方々を招いて開催され、完成した園舎や園庭のお披露目も兼ねたお祝い会となり、おじま幼児園5歳児30人による鼓隊演奏なども行われ、多くの方で完成を祝う楽しい会となりました。



▲園児たちの鼓隊演奏



▼夏祭りも大賑わい

**揖斐川町赤十字奉仕団  
皇居勤労奉仕に参加**

6月21日(月)～6月25日(金)にかけて、揖斐川町赤十字奉仕団48人が、皇居勤労奉仕に参加されました。皇居勤労奉仕は、昭和20年5月に空襲で焼失した宮殿の焼跡を整理するために始まり、その後今日まで奉仕活動が行われています。

奉仕団の皆さんは、皇居および赤坂御用地で、草取りやはき掃除を実施されました。

清掃活動中には、天皇陛下と皇太子殿下によるあいさつもあり、感謝と奉仕の意欲が沸いたそうです。奉仕活動お疲れさまでした。



▲勤労奉仕お疲れさまでした。

**揖斐川町赤十字奉仕団  
河川愛護推進で感謝状受賞**

7月21日(水)木曽川上流河川事務所(岐阜市)で、永年にわたる河川の美化・愛護活動の推進に対し、その労をねぎらって、感謝状の贈呈式が行われました。

今回は、揖斐川町赤十字奉仕団の皆さんが20年余りにわたり、いびがわの祭りの翌日に揖斐川河川敷の清掃活動を行なったことの功績に対して木曽川上流河川事務所長から感謝状の贈呈を受けました。

赤十字奉仕団の皆さんは、「今後も活動を継続し、清流揖斐川を守り続けていきたい」と話されました。受賞おめでとうございます。



▲受賞報告に訪れた奉仕団の皆さん

**セフティネットいびがわ  
除草ボランティア**

7月17日(土)、セフティネットいびがわによる除草ボランティア作業が行われ、早朝からおよそ100人が集まりました。

セフティネットいびがわは、町内の土木建設、電気設備、水道事業などの業者およそ70社で組織され、災害時の復旧活動のほか各種イベントでのボランティア活動をされています。

除草作業は、谷汲地域の水源地と岩坂トンネル付近の主要地方道山東北線、井ノ口橋から東ノ山トンネルまでの広域農道などで行われました。セフティネットいびがわの皆さん、ありがとうございました。



▲除草作業の様子(広域農道井ノ口橋付近)

**風鈴で店舗に「涼」を  
～商工会女性部～**

揖斐川町の店舗などの軒先に風鈴をつるして、涼しげな音色を楽しんでもらおうと、7月14日(水)揖斐川町商工会女性部が商工会館で陶製の風鈴を組み立てました。

この取り組みは、商工会女性部が毎年行なっている店先装飾事業の一環で、部員233人の店舗や事務所軒先に9月末まで風鈴がつるされます。

この日は、17人の部員で、250個の風鈴を組み立て、短冊に女性部のPRキャラクター「おぼちゃん」のシールを張りました。

市田セツ子部長は、「風鈴の音色でさわやかな雰囲気を作りたい」と話されました。

